

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス：S8000531@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス：<http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

セーリング部 インターハイ男子初、女子二度目の出場

関東高等学校ヨット大会で女子は優勝、男子は入賞し、8月16日～20日に佐賀県唐津市で行なわれる全国高等学校総合体育大会に、男子一艇、女子二艇で出場することになりました。

うねりと潮は常にあり、高いときは4mの中で週7日練習しています。潮も速く、なかなか前に進めないことも珍しくありません。艇の修理も全て自分たちで行い、どんな状況でもみんなで日々セーリングを楽しみ、練習に励んで

きました。たくさんの方々にお世話になり、皆様に御迷惑をおかけしてきましたが、ここまで成長することが出来ました。全力で戦っていきたいと思います。御声援よろしく願いいたします。



7月15日に大島町役場を訪問し、川島町長と石川教育長に出場の報告をし、頑張ってきたように激励していただきました。(生徒代表は尾身部長と優勝者の一人関さんです)

日々充実

副校長 佐藤 尚之

大島海洋国際高校に赴任して4ヶ月が経ちましたが、この間に都内の高校では味わえない、充実した日々を過ごしています。この4ヶ月の間だけでも、印象に残ったことがいくつもあります。

まず、生徒の朝の挨拶が気持ちいい。海国生にとっては当たり前のことかもしれませんが、なかなかこれできないものです。社会に出るとますますコミュニケーション能力が求められます。朝の挨拶一つでその人の印象が違ってきます。ぜひ、身につけたことは何年経っても続けてもらいたいと願っています。

GW前に行われた、新歓スポーツ大会での生徒の自主的な運営にも驚かされました。入学したばかりの1年生を上級生がよくリードしていました。担当教諭より「今日是指示を出さないから生徒だけで運営しなさい」との言葉があり、うまく運営できるか興味を持って見守りました。開会式から閉会式まで委員の生徒を中心にスムーズに大会が進み、熱い試合内容も含め大成功に終わりました。もちろんそこに至るまでの事前指導はあったでしょうが、自主的に行動できる姿に感心しました。

年に数回ある一斉帰省も本校の特色の一つです。見送る在島生及び教職員と見送られる在京生。しばしの別れ。他の学校では見られない光景です。

そして、なんとといっても大島丸での航海実習。東京都で船を持っているのは本校だけです。私も2年生の国際航海に2週間、生徒と一緒に乗船しました。早朝からランニングや船内作業を行い、船酔いしながらも、自分に負けまいとする姿。辛い時に、仲間と協力することから得られる真の協調性。精神的に成長する姿を目の当たりに見ることができました。

日の出浜への遠足は快晴の中、海で思い切り楽しむ笑顔と、何時間でも遊んでいられる若さにうらやましさを感じました。BBQ後の片付けや、最後のゴミ拾いなども指示が出される前に率先して取り組む姿はさすが海国の生徒と感動しました。

このように、たった4ヶ月ですばらしい体験をいくつもしました。今後も生徒と共にいろいろな感動を味わえると思うと今から胸がときめきます。

基礎航海学習

6月に1週間ずつ4回に分けて基礎航海学習が行なわれました。横浜・横須賀に寄港し、海洋・船に対する基礎を理解し、船内生活に慣れることが目的です。関連施設として、横浜で帆船日本丸、横須賀で海洋研究開発機構と記念艦三笠を見学しました。生徒の感想を掲載します。



基礎航海学習をおえて

那知 夕記子

初めての乗船をおえて、私はたくさんのことを学ぶことができました。1つ目は、チャレンジすることです。今回の乗船はチャレンジすることです。今回の乗船は初めてのことばかりでした。一つひとつにちゃんとした決まりがあり、覚えられるのか不安でした。しかし、日数を重ねることで最初できなかったことができるようになったときはとてもうれしかったです。

2つ目は責任感です。今回の乗船で当直をやりました。当直の仕事はたくさんあり、

その日は朝から夜まで緊張していました。当直を務めることで、周りを見るという事もできるようになりました。それまでは自分のことばかり考えていて、周りを見ていなかったと思います。その他にも、操舵を体験してたったの10分だったのかもしれませんが、私にとっての10分は、責任というものが強く学べたのだと思いました。

3つ目は、仲間を大切にすることです。普段学校で見ているみんなとは違った場面を多く見ることができました。いままであまり話したことのなかった人とも、たくさん話すことができました。食事の準備や片づけをするときでも、てきぱきとできたのは、お互いに協力できたからだと思います。

今回の目標は、メリハリをつける、自分で考えて行動する、周りに気を配るでした。この中でできなかったことはメリハリをつけるということだと思います。色々な所に見学に行くときでも、いつまでも話していたりすることもありました。その他にも、何度も注意されていたことが直らなかつたりしました。この乗船でたてた目標は、学校生活をしていく中でとても大切なことだと思います。この乗船で学んだことをこれからの生活で、いかしていけるようにがんばりたいです。楽しい一週間でした。

遠足

7月18日明け方の集中豪雨と雷鳴で実施が心配されましたが、朝から雨も上がり、1年生は三原山、2年生は日の出浜、3年生は式根島へ行きました。

1年生は三原山が霧に包まれ、御鉢巡りは中止し、火山博物館から割れ目火口横断、大島温泉ホテルで昼食と入浴を行いました。



2年生は岡田港近くの日の出浜で強い日差しの中、海水浴とバーベキューを楽しみました。

3年生は新島の連絡線「にしき」をチャーターして式根島を往復しました。南西の風により、白波がちらほらする中、船酔いする人も数名出ました。式根島ではバーベキュー・海水浴・島内めぐりとそれぞれ楽しみました。



進路講演会を実施しました

進路指導・キャリア教育部では2・3年生を対象とした進路講演会を2回実施しました。進路講演会とは、大学等を中心に各分野の講師を本校にお招きし、お話を伺う講演会です。講演を通じて、生徒が自らの進路について考え、進路実現に向かって積極的に取り組むきっかけになることを願って開催いたしております。

第1回は、6月28日(金)に開催しました。お招きした大学等は、東海大学海洋学部・拓殖大学・帝京科学大学・東京農業大学・淑徳大学・駿河台大学・立教女学院短期大学・清水海上技術短期大学校・海上保安庁・彰栄保育福祉専門学校・東京調理師専門学校・国際動物専門学校・日本外国語専門学校・医療系予備校・公務員試験に関して立志舎・就職に関してはキッズコーポレーションの全16の多岐にわたる分野です。

第2回は、7月19日(金)に開催しました。お招きした大学は、亜細亜大学・桜美林大学・実践女子大学・明星大学・ルーテル学院大学の5大学です。

第1回、2回ともに生徒は2つの講座を選択し受講しました。各講座ともに、単に大学のPRや案内ではなく、進路をどのように考えていくのか、大学とはどのような所か、大学選びをどのようにするのか等々、講師自らの体験や経験を踏まえてのお話も伺う事ができました。講演終了後も教室に残り、積極的に質問をする生徒の姿も多数みられ、有意義な進路講演会となりました。

第3回 Water Boys & Girls 選手権大会開催

7月20日(土)、本校屋外プールにおいて実施しました。熱中症が心配されましたが、曇り空が幸いして大過なく過ごせました。

開会宣言のあと、恒例となった今西先生による水上安全教室が行われました。救助のときの注意や浮き輪の投げ方など、実践的な説明がありました。救助の際は道具を使い、複数の人数で陸上から対応することが大切であり、単独で道具を使わず、泳いで助けることは禁止である事が強調されました。

25m、50mの各種競泳の他、ダイビングのフィンを用いてのフリップパー、レスキュー、ロープレスキュー、水球、大玉転がし、陣取り合戦など本校ならではの種目も多く、熱戦が繰り広げられました。

A組、B組の対抗戦形式で行われ、途中逆転に次ぐ逆転の接戦でしたが、最終的にA組の勝利となりました。

